



http://www.minamih.net/
15・5・9(土)
南NEWS NO11

SPRINT(全力で走る)

TVでガンバvsレッズの試合を観ていたら選手のデータの一つとして“試合中に何回全速力で走っているか”を画面に提示していました。後半途中でしたが宇佐見選手も多く、20数回を超えていました。

ドイツブンデスリーガーの岡崎選手はリーグに所属する全選手の中で3番目にsprintの数が多そうです。それがあの世界トップレベルの激しいブンデスリーガーにおいて、2年連続2ケタ得点をマークする活躍につながっているのです。見習ってほしいです。

DFの背後に全力で走り込む、パス&ダッシュを繰り返す、オーバーラップ、カバーや素早く戻って取り返す等の動きをしていればスプリントの数は増えます。

100mを10秒で走る人は36km/hですが、サッカーでいうsprintの速さは24.48km/hで100mを約14.7秒で走る速さだそうです。走るチームは強いです。 by南のアンパンマン

・39期生 U12 リーグ 第3 節目 試合結果レポート

4月29日 稲荷山小

・チーム目当て：ゾーンプレスとスライドを意識、積極的なフォアチェック、コーチング

○1 試合目：南八王子0-0 平山SC 前半0-0



2 試合目：南八王子4-1 東八王子FC 前半1-1

得点者

豊嶋君※CKから古積君→豊嶋君が勇気ある顔面シュートでゴール！！

小松君※坂本君のFKをGKが弾いたところを小松君が詰めてゴール！！

古積君※ドリブル突破で相手ファールを貰い、PKを自ら決めてゴール！！

小松君※ペナルティーエリア内の混戦でボールカットをしてゴール！！！！

1 試合目、朝一番の試合の為に皆の動きが硬く、声も出ていない状況で相手に押し込まれる場面が多くありましたが、GKの高田君のファインセーブもあり、何とか無失点の引き分けで終了する事ができました。

2 試合目、U12 リーグ戦の初失点で先制されてしまい、このまま相手チームの流れになるかと思いきや、豊嶋君のゴールで流れを南八王子ペースに戻す事ができました。

その後、試合終了まで積極的なプレーと集中力を保ち、追加点を挙げて勝利する事ができました。

8試合中5勝1分けとなり、勝ち越してはいますが、今回の試合は皆が次へのプレーを意識しておらず、常に準備している姿勢を持つことができなかった事が課題であり、この課題をクリアし、より上を目指すようGAMBAっていきましょう。

by大澤コーチ

・39期生 春季カップ トーナメント 1回戦 試合結果レポート

5月3日 由木西小

・チーム目当て：積極的なフォアチェック、ゾーンプレスとスライドを意識、ドッチング

○1 試合目：南八王子0-3 小宮SC 前半0-1

小宮SCさんは新春フットサル大会で優勝したこともある強豪であり、ベスト8以上の壁を痛感した試合内容でした。

序盤は攻守ともに相手に負けないプレーを続ける事ができましたが、キックミスや突かれて失点しまうと、終始において南八王子の全選手が焦り、ドリブル突破を試みるも相手に当てしまう、ボールキープするためにスクリーンやターンをする事もなく、パスも全く味方に通る事も無く、相手チームは皆が足元の技術、キック力もあり、まさに「完敗」で春季カップ敗退となってしまいました。

しかしながら、古積君が突破し、カットされたところを佐藤君が詰めてシュートするもGK正面でゴールとならなかった場面や、大澤君のカバーリングも光っており、成長を感じる事ができた場面もありました。

今回、この壁を経験出来た事で、より上を目指す為に必要な課題が見え、各選手も具体的に感じる事ができたと思います。

このリベンジ杯で可能なので、その間に個人力とチーム力を向上させる為、日頃から高い志で練習に臨み、少ないチャンスを必ず物こしなればベスト8以上で勝利するのは難しいので、強い気持ちでこれからもGAMBAっていきましょう。

by大澤コーチ

ハイクオリティ&ファン！！

後日のレポートになりますが、5月5日(火) U-12リーグの最終戦。南はソルプラスに敗れました。前半、右サイドを崩され、クロスに合わされての失点です。ディレイの声もドッチングもカバーもなかったのです。

後半、古積君が鮮やかなシザースのフェイントでDFをかわし、右ゴールネットに左足で流し込む同点ゴールはありましたが、終了5分前、相手ミドルを許して、GK高田君の頭上を放物線を描くボールがゴールに吸い込まれ、敗戦。大久保君・高田君が泣いていました。

コーチングもない、パスアンドムーブもない、ドッチングもない、ドリブル・ターン技も出ない、出ても慌ててぶつけてしまうの繰り返しでした。

次回に中野コーチのレポートを載せますが5月6日(水)は横川小での交流試合でした。東には負けましたが、白百合には勝ちました。

めあては“2秒先を観て判断する”“慌てず、ドリブル・ターンの技を使い、スクリーンでボールをキープする、攻める”でした。矢上は南の子一人一人のsprintの数、ドリブル・ターンの技・回数等をノートにつけて、試合終了後に子どもたちに伝え、できたこと・チャレンジしたことを評価し、更にと励ましました。

子どもたちのパフォーマンスは向上し、昨日とは全く違うチームになりました。古積君が左MFの江成君に寄っていき、“ワンツー”とコーチングして2人で相手左サイドを崩して得点のアシストという今までに観られなかったシーンもありました。佐藤君のsprintも迫力ありました。チームに活かしてほしいです。

ハイクオリティな南がサッカーを楽しんでいるなど実感できた一日でした。

by南のアンパンマン

